

The Hospital



病院紹介 77

患者目線で新たな技術の開発に専心。
治療法を革新してきた大腸肛門外科の先駆的存在

医療法人藻友会

札幌いしやま病院

開業時から先進的な治療を実施 道内有数の肛門専門病院に

札幌いしやま病院は、昭和52年(1977)に札幌市中央区北1条西11丁目に石山肛門科医院として開業した。もともと消化器外科、肛門外科領域の疾患を多く診ていた石山勇司名誉院長は、当時まだ全国的に珍しかった術式を取り入れ、肛門手術を行っていた。その手術は従来と比べてはるかに経過が良く、市民の間に評判が広まり、患者数は少しずつ増加していった。昭和54年(1979)には、医療機関としての機能拡充を図り、いしやま病院として現在の地へ移転。石山名誉院長は「痔の症状に悩む方が、道内各地から来院するようになり、地方の病院からの紹介件数もこの頃から増え始めました。肛門疾患で最も多い痔核の手術は、当時から年間3,000例以上行っ

います」と当時を振り返る。

増え続ける患者に対応するため、平成16年(2004)に、外来機能を札幌いしやまクリニックに、入院・手術機能を札幌いしやま病院に分割。患者同士のプライバシーと入院患者の療養環境に配慮し、患者がより安心して治療を受けられるようハード面を整備した。

既にある治療法を改善し 患者のQOL向上につなげる

術後の疼痛緩和と入院期間の短縮、そして肛門機能の温存のために不要な切除はできるだけしないという治療方針のもと、診療を続けてきた同院。外来患者数は、年間約6万人、入院患者数は年間約2,500人、日帰り手術を含む手術件数は年間約5,000件に上る(いずれも2019年度時点の数字)。

最大の特長は、既存の治療を漫然と行うの

ではなく、改善点を見つけ、より効果的な治療を確立してきたことだ。痔核には、低侵襲で日帰り治療も可能なALTA注射法、もしくは同院が開発した肛門形成手術を行う。また手術では、肛門周囲にだけ麻酔をかけられる仙骨硬膜外麻酔も使う。硬膜外麻酔を肛門の手術に応用したのは同院が日本で初めてで、手技は難しいが、穿刺時の脊髄損傷がない、合併症が少ない、外来の日帰り手術が可能など、患者にとってのメリットは大きい。初期あるいは急性の裂肛、また痔瘻においても、より優れた治療法を開発し、学会などで報告してきた。

こうした取り組みから、2014年に発行された肛門疾患診療ガイドラインには、同院の治療法が記載されている。また、日本大腸肛門病学会の専門医修練施設として認定され、レベルの高い技術を習得しようと毎年全国各地から医師が研修に来ている。

痔を防ぐ正しい知識を 地域住民や医療従事者に発信

痔の根本原因といわれる便秘。繰り返すと肛門にかかる負荷で、痔核の脱肛や裂肛を引き起こすことが多い。同院では、快適な日常生活のため、また痔の再発を防ぐために、便秘予防をテーマにした講演会を月に1〜2回の頻度で開催している。依頼を受けて駆けつけることが多く、地域住民向けから、内科医や産婦人科医を主とした医療従事者向けまで、対象に応じて幅広い内容で講演を行っている。最近では、製薬メーカーからオンライン講演を依頼されることも増えてきている。「便秘でお悩みの方は男女問わず多いです。講演では、生活習慣や食事内容の見直し、お腹のマッサージ方法、日常生活におけるおしりのケアなどに

ついて話し、予防策を発信しています」と石山名誉院長は語る。

大腸肛門外科の 最後の砦であり続ける

40年以上にわたり、肛門疾患の専門病院を続けてきた札幌いしやま病院。これまで診てきた数々の症例から、知識を深め、技術を磨き、レベルの高い診療を維持してきた。病院の舵取りは長男の石山元太郎理事長に引き継いだが、石山名誉院長は現在も診療の現場に立ち、患者と向き合っている。「専門病院である以上、専門性をより高めていかなければなりません。それには技術の向上が一番重要です。他院の先生が安心して患者さんを紹介できる病院であり続けるために、スタッフ一同、研鑽を重ねていきたいですね」。



●外来機能を持つ札幌いしやまクリニックのロビーと診察室



●札幌いしやま病院で最も広い手術室。このほかに5つの手術室がある



●16列マルチスライスCT



名誉院長
石山 勇司(いしやま・ゆうじ)

斜里町出身。昭和43年(1968)札幌医科大学医学部卒業。昭和52年(1977)10月、石山肛門科医院を開業。昭和54年(1979)札幌いしやま病院理事長就任、平成26年(2014)より現職。趣味はゴルフ。



医療法人藻友会

札幌いしやま病院

〒064-0915
札幌市中央区南15条西11丁目2番1号
TEL: 011-551-2241
FAX: 011-551-2727
http://www.ishiyama.or.jp

■診療科目／肛門外科、内視鏡外科

■病床数／89床

■職員構成／医師5名、看護師33名、看護補助者6名、薬剤師2名、診療放射線技師1名、管理栄養士1名

■沿革
昭和52年(1977) 石山肛門科医院開業
昭和54年(1979) いしやま病院に改称
昭和57年(1982) 医療法人藻友会 いしやま病院に法人化
平成 4年(1992) 医療法人藻友会 札幌いしやま病院に改称
平成16年(2004) 札幌いしやま病院を新築、入院機能を「札幌いしやま病院」に、外来機能を「札幌いしやまクリニック」に分割
平成30年(2018) 医療法人藻友会 いしやま形成外科クリニック開業